

2019-05 2019.05.24

2019 年 5 月 議事録

令和元年 5 月 2 1 日（火）AM10：00～12：00 東児童館調理室

出席者；笹澤、長澤、山口、篠原（自警団）須藤（東 2 自治会長）原田（稲荷前パトロール隊長）半田、大竹（社協）、荻生（社協）、鈴木

配布資料；24 回目書き込み資料（笹澤）、23 回目議事録

<報告>

1. 地域の絆づくり支援事業助成金申請 & 交付⇒滞りなく終了
2. 車いす寄付の申し出；山田さんへ稲荷前の住人から恐らく中古の車いす寄付の申し出あり。保存場所、使用する可能性、メンテナンスなどいくつか考えられる。車いすとは本来は使用する本人の体形や障がいの状況に応じて作る・購入するもの。大災害時などに使用の機会が無いとは言い切れないが粗大ごみに出すのが面倒だから寄付するという場合、管理しても使えるかどうか疑問なのでもう少し詳細を問い合わせる。

<議題>

◎避難訓練に向けての「支え合いマップ」づくり→木原孝久先生から学ぶ 5 月 29 日午後の講習会について

午前中はふれあい相談員委嘱式 & 記念講演会（講師：木原先生）

午後 東小学校学区きずなネットワーク運営協議会のために「支え合いマップづくり」を実施しながら

住民流見守り術 ご近所パワー活性化術 を講義していただける。

⇒12：30 市役所 201 会議室 ほぼ 2 時間予定 講師料 5000 円用意

◎今回初めての須藤、原田さんが参加しているので 自己紹介を兼ねながらの「きずなネットワーク」の紹介、当会への疑問点、現在の地域の活動の様子などを交えて話す。

Q 避難訓練に向けての「支え合いマップ」づくり～の「避難訓練」とはなに？

今年度はまだ地域の結びつきの希薄ゆえ実現不可能だが、何年か後に小学校をメイン会場として避難経路、避難所運営、炊き出しなどを含めた大規模な避難訓練の実施を目標としたい。（更には何年に一度かの繰り返しの訓練実施）そのために…

- ① 非常時に声がけを必要とする「高齢者」「障がい者」「その他の要救護者」の MAP づくり
- ② 各自治会、自警団、パトロール隊と相互に連絡、相談ができるように交流を深める努力
- ③ 自治会、小学校主催の参加できる行事に参加して「きずなネットワーク」をアピールする
- ④ 「きずなネットワーク」のこれまでの活動、これからの活動計画を文書化して各自治会の役員会に提出して更にはメンバーが 1 回役員会に来て説明をすれば 来年度からの補助金が出やすい。

「きずなネットワーク」は高齢者、障がい者の見守りを目的としたふれあい相談員と民生委員の情報交換、管理の組織だと思っていた。ところが、地域の老若男女の協力・参加・意識づけの必要な「大規模な避難訓練」を目的としているのならば もっと多くの色んな層の参加と意見交換が必要になるだろうから少なくとも自治会からは理解してもらえるようにしてほしい。

稲荷前については 1 1 月の防災訓練にアピールイベントを共催するために、7 月ごろの自治会役員会にて書類を持ち込んでのアピールをすると良い。

東 2 丁目については防災訓練も実施されていない。現在、抹消してしまったゴミ集積所の掃除当番の復活と震災時の共同井戸の掘削への対応で手いっぱい。自主防災会も無い。防災倉庫も無い。⇒ひとつずつ消化。

次回は 6 月 1 8 日（火）10：00～ 東児童館